

宮城協働モデル フォーラム

21世紀型の 教員養成とは!?

基調講演

13:25—14:25



演題

未来に生きる
子どもたちのために
—教育実践と新しい教員像—

講師

独立行政法人日本学術振興会
理事長 安西 祐一郎氏

宮城教育大学は、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会及び協力企業と協働して、「自ら学び続ける教師」=『イノベティブ・ティーチャー』を生み出す教員養成・育成システムの構築を、地(知)の拠点整備事業として約2年間に渡って進めてきました。

本フォーラムでは、これまでの取り組みを広く報告するとともに、文部科学省および外部有識者として(安西祐一郎氏 本事業 宮城教育イノベーション推進協議会委員)をむかえ、本事業と教育施策とのつながりについて、皆さまとともに考える機会としたいと思います。

プログラム

12:30-14:25

開 会	
挨拶	宮城教育大学 学長 見上 一幸 宮城県教育委員会 教育長 高橋 仁 仙台市教育委員会 教育長 大越 裕光
特別講演	文部科学省初等中等教育局教職員課 課長 茂里 毅
基調講演	独立行政法人日本学術振興会 理事長 安西 祐一郎

休 憩

14:35-17:15

パネルディスカッション	
テーマ「県・市・大学が連携する初任教員養成・育成プロジェクト」	
コーディネーター	宮城教育大学 教授 村上 由則
パネリスト	宮城教育大学 教授 松岡 尚敏 宮城県教育委員会担当者/仙台市教育委員会担当者
プロジェクト実証実験モデル校/プロジェクトからの実践報告	
テーマ「イノベティブ・ティーチャー養成を目指して」	
女川町立女川小学校	宮城県立聴覚支援学校
宮城県多賀城高校	宮城県教育委員会「授業の技」
宮城県立光明支援学校	仙台市教育委員会「仙台通級プロジェクト」
閉 会	

2月13日 土

12:30—17:15 (12:00開場)

会場/宮城教育大学 2号館

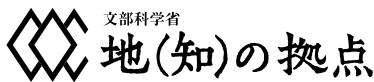
※お車でのお来場可能

主催/宮城教育大学

共催/宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

入 場 無 料

文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の概要・目的



文部科学省では、平成25年度から、国公私立の大学、短期大学及び高等専門学校が自治体などと連携し、地域を志向した教育・研究・地域貢献を行う事業を「地(知)の拠点整備事業」(COC事業)として進めています。

宮城教育大学は平成25年度に教員養成系単科大学として唯一採択されました。

これまでの取り組み

① イノベティブ・ティーチャー養成・育成マップの作成

- (1) 本学が開学から50年間養成しようとしてきた教員像を再検証し、県・市教委との連携のもと『イノベティブ・ティーチャー』について、理論的・歴史的基盤の確立を目指しています。
- (2) 県・市教委と本学が連携し、大学での教員の育成段階から初任研、5年研と連続した7年間にわたる養成・研修体制の新しい枠組みの構築を進めています。

② ICTを活用したイノベティブ・ティーチャーの養成・検証

- 産官学連携によるICTを活用した新しい学びの場(教室)の創出と新しい教育方法の実証・プロジェクト実証実験モデル校での授業研究・教員研修による実践事例の蓄積
- (1) ICT機器導入による授業変革モデルの収集を進めています。
 - (2) 授業が革新する時に必要な教員資質の変化に着目し、そのための新たなスキルの抽出を目指します。

プログラムについて

● パネルディスカッション

テーマ「県・市・大学が連携する初任教員養成・育成プロジェクト」

本学が宮城県・仙台市教育委員会と協働し、集中的に検討している養成の最終段階から教員になり5年程度までの間で若手教員が出会う様々な課題の検討とそれへの対応について討論を行います。

● プロジェクト実証実験モデル校／プロジェクトからの実践報告

テーマ「イノベティブ・ティーチャー養成を目指して」

本事業の実証実験モデル校としてイノベティブ・ティーチャーの養成に協働している県内のモデル校／プロジェクトより、本年度の取組とそのプロセスおよび成果について報告します。本報告は、教員自身が新しい取組を活かした授業をデザインし、その授業の構築過程において、どのような気づきと変化を実感しているかに焦点を当ててレポートします。

女川町立女川小学校／宮城県多賀城高校／宮城県立光明支援学校／宮城県立聴覚支援学校／宮城県教育委員会「授業の技」／仙台市教育委員会「仙台通級プロジェクト」

安西 祐一郎 氏プロフィール



安西 祐一郎氏(あんざいゆういちろう)
独立行政法人 日本学術振興会理事長。
1974年慶應義塾大学大学院博士課程修了。専攻は認知科学・情報科学。同大学理工学部教授、理工学部長を経て2001～09年慶應義塾長。11年から現職。環太平洋大学協会 (Association of Pacific Rim Universities; APRU) 会長など要職

を歴任、文部科学省中央教育審議会(中教審)委員として大学改革の論議をリード、第7期会長時に高等学校教育・大学教育・大学入試の一体的改革について答申をまとめた。

【お申し込み方法】

所属／住所／氏名(ふりがな)／電話番号／メールアドレス／駐車場利用の有無をご記入のうえ、FAX、電子メールのいずれかでお申し込みください。

※仙台市政日より1月号においても、お申し込みのご案内をいたします(30人分)。

【お問い合わせ・お申し込み】

宮城教育大学 COC 推進会議

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉149
TEL : 022-214-3688・3640
FAX : 022-214-3576
E-mail: miyagi-coc@adm.miyakyo-u.ac.jp

アクセス・MAP

地下鉄東西線 「仙台」駅から「八木山動物公園」行き乗車、「青葉山」駅下車
(乗車時間9分、料金250円)

「青葉山」駅「北1出口」から徒歩約7分

※「青葉山」駅の「北1出口」から外に出て、歩道を右方向へ進みます。
そのまま歩道を歩いて行くと宮城教育大学に到着します(約650m)。

市営バス 地下鉄東西線「青葉山駅」から「宮教大・青葉台」行き乗車、「宮教大前」下車
(乗車時間約2分、料金120円)

※地下鉄東西線の開通に伴うバス路線再編により、「仙台駅」⇄「宮教大前」のバス路線は廃止されました。

